

喜界町 図書館だより

10月号

〒891-6201 喜界町大字赤連小字樋口前30番地



【通算 232号】
2015（平成27）年10月1日発行

TEL: 0997-65-0962
FAX: 0997-65-2523
e-mail: kikailib@town.kikai.lg.jp

《恒例の秋の行事「読書週間10/27(火)から11/9(月)」が始まる。》

今年の標語は、『いつだって、読書日和』です。今年は下記の4項目を「読書週間」のテーマとして掲げています。

(1) 国民すべてに読書をすすめる運動 (2) とくに青少年に読書をすすめる運動 (3) 読書グループの結成促進 (4) 家庭文庫、地域文庫、職場文庫の充実をテーマとして掲げています。

「秋・読書週間に、ぜひ、一冊の本を」が活動の原点です。「読書週間」は、読書の楽しさを伝え、すべての世代の人たちに本に親しむきっかけをつくっていただくためにあります。多くの人が書店や図書館で一冊の本を手にとって見ることを期待しています。

いつの時代も「子どもが本を読まなくなった」といわれてきました。近年は、映像や電子メディアなどの発達で、ますます子どもたちの「読書」の時間がせばめられています。しかし、どんなメディアの時代でもそれを動かす主役が人間である以上、活字文化はすべてのメディアの基礎です。特に幼少時から青少年時においての本とのつきあいが重要という認識のもとに、この運動を進めています。保護者の皆様、子どもの側に一冊の本を！

「本が子どもの学力を伸ばしてくれる理由」を松永暢史氏（教育環境設定コンサルタント）著：「将来の学力は10歳までの「読書量」で決まる！」で次のように述べています。

「国語力は、国語の勉強をすることで身につくものだとお考えの方がいます。しかし、言葉とは生きているもの。どんなに文法や漢字の書き取り、熟語を習っても、それが実際の文章の中でどう使われるのか、どう使いこなせばいいのかは、たぶん感覚的なものです。それを磨くには、生きた言葉が詰まっているもの、つまり本に当たるしかありません。そのための読み聞かせであり、読書なのです。」と言っています。また、「国語力はすべての科目を学んでいくうえで必要になるものです。国語力がない子は算数の文章問題が解けませんし、社会・理科の授業や総合的な学習において自分の考えをまとめて発表することができません。」とも記しています。

= 大島民謡の「カトク・ナベカナ」物語 ～⑤～ =

カトクナベカナや きやしふうあたか 親に水汲（く）まち 坐ちゆて浴（あ）むいゆん この歌詞を見る限りでは、彼女は親を親とも思わない、傲慢（ごうまん）な女性に思われる。しかし、彼女は野呂で神に奉仕する身であった。だから世間の人々はもちろん、家族までが「カミサマ」と尊敬していた。そんな風習の中では野呂が身を清める為の水汲みは、親や主人も当然の事だと、思っていたのではなかろうか。

《続く》（文責：登山 典壽）引用文献：志戸桶誌 志戸桶誌編集委員会 著 喜界島古今物語 光井喜禎 著

お知らせ

2015年 第69回 読書週間

10月27日～11月9日

2015年 読書週間 標語 「いつだって、読書日和」

☆「時代小説シリーズ特集」・「秋・読書週間に、ぜひ1冊の本」を展示しています。



2015年 読書週間 ポスター



<作者のことば>

本を読んでいると、ついつい時間を忘れて夢中になってしまいます。そんな本の楽しさを、感じていただけると嬉しいです。

第30回 国民文化祭 かごしま

郷土芸能フェスティバル IN 喜界島（場所：喜界町体育館）

☆ 11月7日（土）・地域文化との出逢い 開場 12:00 開演 13:00 （入場無料）

☆ 11月8日（日）・次世代への架け橋 開場 12:00 開演 13:00 （入場無料）

★詳しくは、下記へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：喜界町教育委員会 生涯学習課 ☎0997-65-3682

新

着



図

書



《おとなの本》

★『為吉』北町奉行所ものがたり 宇江佐 真理著 実業之日本社
為吉は幼い頃呉服屋の跡取り息子だったが、両親を押し込み強盗に殺されていた。その後、北町奉行所付きの仲間となった為吉は、両親を殺した盗賊集団の首領が捕まったと知り…。

★『スムラム・シュ・ムーン』海堂 尊著 新潮社
浪速のインフルエンザ騒動はまだ終わっていなかった。今度はワクチンが狙われて、市民が危機に瀕することになり…。異端の医師・彦根新吾は事態打開のため、欧州に旅立つ。

★『金 魚』荻原 浩著 KADOKAWA
勤め先はブラック企業で、うつうつと暮らしていた潤。近所の夏祭りで見に留まった金魚を持ち帰ったら、部屋に怪しい美女が現れた？それ以来、商談が成立するようになり…。

★『武士道ジェネレーション』菅田 哲也著 文藝春秋
大学を卒業した早苗は結婚。香織は、道場で指導しながら変わらぬ日々を過ごす。玄明先生が倒れ、桐谷道場に後継者問題が…。剣道女子を描くシリーズ第4弾。

★『王とサーカス』米澤 補信著 東京創元社
2001年、雑誌の仕事でネパールに向かった大刀洗万智。王宮で王族殺害が勃発し、彼女はジャーナリストとして取材を開始するが…。

★『凶解マイナンバー制度早わかり』
梅屋真一郎 著 KADOKAWA

★『民舞に恋して』園田 洋一著 新日本出版社

★『世界の不思議な毒をもつ生き物』
マーク・シッダール著 エクスナレッジ

《こどもの本》

★『ジンバイザメのはこびかた』松橋利光 写真・
高岡昌江 文 ほるぷ出版
水族館の魚は、どこからきたの？小さい魚なら、バケツや車ではこべる。でも、世界一大きな魚を運ぶとしたら…。

★『わらえるおばけの話』村上 健司文 あかね書房
日本各地に伝わる本格的なおばけの話が10分で読めるシリーズ。ばけねこのひみつや、カッパをだます話など多数。

★『せいめいのれきし』バーゴ・バートン文・絵 岩波書店
ちきゅうの上での生命の歴史。それは、除幕はあっても終幕のない、おおきな劇。銀河系の誕生から現在のひとびとの生活までを紹介。最新の知見に合わせて見直した改訂版。

★『どうぶつうんどうかい』さとうあきら 写真アリス館
今日は動物たちの運動会。どんなことするのか？ジャンプが得意なサルくんは、遠くまでとおっ。！素敵な動物たちに会える写真絵本。

★『どうくつたんけんゴ』長崎 夏海作 新日本出版
学校の帰り道。涼しい場所を探していたあさひは、住宅わきの地下の駐車スペースをみつけた。コンクリートが冷たくて気持ちよかった。このかんじ、知ってる気がする。

★『ぬちどうたから』真鍋 和子作 高村 忠範絵 汐文社
★『夢をかなえる職業ガイド』PHP研究所編 PHP研究所
★『このあしたあれ？』ネーチャー＆サイエンス編



8月のベストリーダーズ

一般図書	1	春雷	葉室 麒/著	児童図書	1	しろくまちゃんのほっとけーき	雑誌	1	婦人公論2015年7月14日号
		ジョン・マン5	山本 一カ/著			一期一会トキメキ1等賞			かがくのとも2005年6月号
		まったなし	島中 恵/著		2	きょうはなにをするの、ベネロベーン・グッドマン/ぶん		2	週刊文春2015年7月30日号
		(まんまことシリーズ)				こくまちゃんのどろあそび			CHANTO2015年6月号
		ラプラスの魔女	東野 圭吾/著			わがまま けん/監			
						ベイマックス			
						虫口ボのぼうけん			



日	月	火	水	木	金	土
9/27	9/28	9/29	9/30	1	2	3
	休館日			資料休館日		おはなし会
4	5	6	7	8	9	10
	休館日				子育て支援来館日	おはなし会
11	12	13	14	15	16	17
	休館日					おはなし会
18	19	20	21	22	23	24
	休館日	早町小学校 団体貸出回収 (1~3年)	早町小学校 団体貸出回収 (4~6年)			おはなし会
25	26	27	28	29	30	31
	休館日					おはなし会

※ 〇 は、休館日です(毎週月曜日・第1木曜日)
・開館時間 午前10時~午後6時

おはなし会・ミニ映画

毎週土曜日 午後2時~2時40分
今月のミニ映画は手塚ワールド

8月統計 (開館日数25日)	貸出冊数	H27年度合計
	3,812 冊	20,117 冊
	来館者数	H27年度合計
	1,940 名	8,431 名